

令和7年度 小竹町人権啓発事業

映画上映『祈り—幻に長崎を想う刻—』

松村克弥監督×武富慈海館長（兵士・庶民の戦争資料館）トークショー

令和7年

7月31日（木）

会場：小竹町中央公民館
2階大研修室

入場無料

祈り

—幻に長崎を想う刻—

原作：田中千禾夫
『マリアの首—幻に長崎を想う曲—』

1回目 開場13時

開演13時30分

2回目 開場17時30分

開演18時

※所要時間約2時間30分

★同時開催★

障がい者通所事業所による
作品展示・販売会

時間：13時から13時30分まで

場所：小竹町中央公民館

高島礼子

田辺誠一 金児憲史 村田雄浩

藤本隆宏 温水洋一 馬淵英里何 宮崎香蓮 大桃美代子

黒谷友香

寺田 農 柄本 明 美輪明宏（被爆マリア像の声）

井手麻人 城之内正明 玉浦有之祐 たくみ稜



（声の出演）

主題歌：「祈り」（新自分風土記1～望郷編～） 歌：さだまさし

監督：松村克弥 脚本：渡辺善則 松村克弥 亀 和夫 総括プロデューサー：家喜正男 プロデューサー：亀 和夫 城之内景子

映画は、一般成人向けです。

【主催】小竹町・小竹町教育委員会

【問い合わせ先】小竹町役場情報人権係 ☎0949-62-1212

戦争ほど悲惨で残酷なものはないか。原水爆ば使うなよりも、戦争そのものばなくしたか。

彼女たちは、なぜ被爆地からマリア像を盗み出したのか——?!

岸田演劇賞、芸術選奨文部大臣賞受賞。
戦後演劇史に輝く金字塔「マリアの首」、ついに映画化。



1945年8月9日11時2分、広島に次ぐ二発目の原子力爆弾が長崎市に投下され、人口24万人のうち約7万4千人が一瞬にして命を奪われた。東洋一の大聖堂とうたわれた浦上天主堂も被爆し、外壁の一部を残して崩壊。それから12年の時が過ぎて——、浦上天主堂跡から被爆したマリア像を盗み出す一味の姿があった。首謀者はカトリック信徒のふたりの女。彼女たちは、なぜマリア像を盗み出さねばならないのか……?!

終戦後76年の時を経た現代、あの戦争の記憶をけして風化させないために、戦後演劇史にその名を刻んだ金字塔がついに映画化される。原作は、長崎出身の劇作家・田中千禾夫が実話を基に書き下ろした、戯曲「マリアの首」。岸田演劇賞、芸術選奨文部大臣賞を受賞、寓話的かつ哲学的な作劇で、唐十郎や野田秀樹ら後の演劇人にも影響をあたえたといわれる。監督は、数多くのドキュメンタリーを手がけてきた、松村克弥。『ある町の高い煙突』でも見せた、ジャーナリスティックな視点と深い洞察力で、舞台劇の映像化を実現。キャストには、隠れキリシタンの末裔で、看護婦であり娼婦というふたつの顔を持つ鹿を高島礼子。闇市で詩集を売りながら、自分を犯した男への復讐を誓う忍には、黒谷友香。ふたりのヒロインをそれぞれが、母性と妖艶さをはらんで演じる。そのほか、田辺誠一、金児憲史、村田雄浩、寺田農、柄本明、藤本隆宏、温水洋一、馬淵英里何、宮崎香蓮、井手麻渡、城之内正明らが、重層的な人間ドラマを織り上げる。

主題歌には、長崎出身のさだまさしが「祈り」を提供。曲中のコーラスパートは、奇しくも、再建された浦上天主堂で長崎市民コーラスの協力を得て収録されている。さらに、美輪明宏が「マリア像」の声を唯一無二の存在感で演じ、作品に神秘的な世界をもたらしている。

祈りー長崎を想う刻に寄せて
マリアの首を盗み出すとき、頂いた美輪明宏で
す。出演のお話を頂いた時不思議な縁を感じ
ました。と申しますのは、戦前の私の養父
先が、小里町20番地で、浦上天主堂の近
所だったからです。今は平和町と町名が変っ
ており、すが、天使様のゆき合えたとはい
お受けできず、頂きたい。多勢の心ある方々
に、ぜひいらん頂きたいと思っております。

美輪明宏



「祈りー幻に長崎を想う刻」2020年/日本/カラー/110分/シネマスコープ/5.1ch/配給:ラビットハウス/Kムーブ ©2021 Kムーブ/サクラプロジェクト